

HSK

なんれん

臨時号

昭和48年1月13日

第三種郵便物認可

HSK通巻第239号

1992年2月10日発行

毎月10日発行(1部100円)

編集 財団法人 北海道難病連

発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会(HSK)

〈音更支部版〉



内容

- ・懇談会のおしらせ
- ・難病患者・障害者と高齢者の医療と福祉を語る集いに参加して
- ・全国患者・家族集会に参加して
- ・町保健婦さんとのふれあいコーナー
- ・クリスマス交流会参加者の感想
- ・支部役員研修会に参加して
- ・事務局からのお知らせ



懇談会のお知らせ

新年を迎えたと思ったら、早1月も過ぎ、まだ寒さ厳しい中で、皆さん如何お過ごしでしょうか。下記の日程にて懇談会を開催致します。どんなことでも語り合ってみませんか。是非お待ちしております。

—— 日 程 ——

日時 1992年2月23日(日)
午後1時～3時

場所 町保健センター 集会室

- ◎ 車イス送迎の必要な方は、早めにご連絡下さい。
- ◎ 連絡先…音更支部事務局 31-8723

★ 難病患者・障害者と高齢者の医療と福祉を語る集いに

参加して ～ 菅原貞助

兼ねてより厚岸・茨中支部の御案内をいただいております10月6日の、難病患者・障害者と高齢者の医療と福祉を語る集い(シンポジウム)が厚岸福祉センター大ホールで行なわれました。何時も自家用車を乗り廻している者にとっては、意に添わないのですが、厚岸行き往復切符を求め乗車しましたが釧路駅より乗り替え待ち時間が1時間余り、帰りは午後4時30分頃終り厚岸駅で待つこと4時間、午後8時30分発帯広着が7日午前1時20分の真夜中、快速列車がイメージダウンしそうな往復でした。

当日は午後1時過ぎ会場に入りましたが、田宮支部長のねざらいの挨拶を受け、直もなく集いが開催されました。先づ記念講演として断立厚岸病院長・行木一先生の現在福祉行政の矢面に立たされている難病・精神・身障者・高齢者の医療と福祉の現状、そして今後あるべき社会情勢の変化等につき、全面的なお話がありました。

その後、行木先生の司会により助言者として御出席の方々より、一言づつお話がありました。厚岸町役場の小野寺生活環境課長より環境と健康について今こそ全地球的問題として真剣に取り組むべきであると言われ、社会福祉協議会事務局次長の手塚祐厚氏よりは、「21世紀を展望した地域福祉とは」と問題を投げかけ、ボランティアと共に地域における福祉行政の重要性を強く解かれ亦社協は市民皆さんの部門であり気楽に出入りするよう願っているとされました。

生活環境課保健指導係長の山内良子さんよりは“在宅福祉とは”と題して、永年の一保健婦の活動をグラフ等を通じて説明され、多くの共感を得ていました。

伊藤マリエさん(主婦)よりは“在宅で父母を介護して”と体験発表がなされ、99才と92才の実父母を介護され、父は今春他界現在92才の母を介護しながら暮らしているが、日夜苦しむ両親の容体を見た時、そして自分の疲労等涙ながらの発表でした。

最後に難病連の小野タ美子さんより「難病患者として思う」と13年間の闘病生活を省り見て、時には勇気を出して難病患者の人達も健常者の中に入り、気分転換のため交流すべきと話しておりました。

最後に釧路保健所保健婦係長・大塚康子さんの講評があり、その後2・3の質疑があり閉会となりました。紋画の関係で大ざっぱな報告となりましたが、今後音更支部に於いても、此の様な催しの参考になればと思います。

×飾り販売に ご協力ありがとうございました

総売上 186,650円

このうち 23.5%が 支部への還元金となります

全国患者、家族集會に参加して

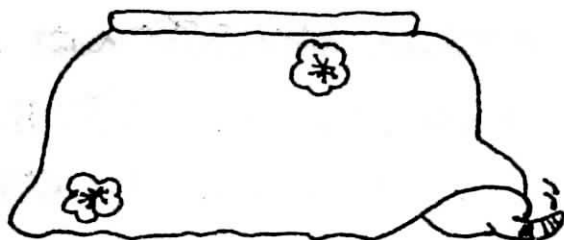
平田一馬

昨年11月17、18日の2日間東京にて全国集會があり、北海道代表として全道で24名が参加致し、私もその一員として音更支部より参集されました。アピール行進があり車イス介助者として家内も同伴致しました。1日目は東京コマ会館にて患者からのメッセージ又、集會アピールを採択し、色々協議し、これからの患者会の有り方について語り合い、18日は行進、又各省に陳情、厚生、大蔵、文部、労働、建設に分かれて行ない、私は厚生省へ出向き老人難病障害者の苦痛について、又看護婦が足りないと言っても、官僚や健常者では分からない事などを積極的に訴えたのです。此の問題は私達難病や障害者の事を分かって貰える迄何回でも、こざつて訴えなければならぬと思いました。

初めての参加でとまどいがついて回り、何かと難連の事務局の方に御世話になりながら、無事帰る事が出来ました。

最後に日本患者、家族団体協議会(JPC)とは、どういう団体で有るかと言うことの意味を願う次第です。

音更町内に住む難病患者の皆様、色々な会合に進んで出席下さる事を心から御待ちして居ります。



初の { 難病連音更支部
視覚障害リハビリを促める会音更 } 共催のクリスマス交流会
終る!

参加者 総勢 50名

◎参加者の方より感想を頂いておりますので、ご紹介します。

あすなろ会 佐藤 時重

私は週日ノ2月8日午後より難病連音更支部のクリスマス交流会に車イスで出席させて頂きましたが、種々の楽しい番組があり私も生涯で初めて会場でカラオケを唄わせて頂き、又帯広青年合唱団と唄おうの合同に、聴覚がほとんど無い身で、音更町で理髪店を営んで居られる武藤様が、会場の全員に手話を涙乍らに四季の歌に合わせて、教えて頂き非常に感動しました。最後に踊りを入れた合唱団のソーラン節は、幕切れにふさわしい勇壮な歌でした。誠に楽しい意義のある会でした。

大谷短大1年 小崎

ノ2月8日に行なわれたクリスマス交流会が無事に終了して良かったと思います。クリスマス交流会が始まる前、終わった後に喫茶店を経営したのは良かったと思います。私だけがそう思ったかもしれませんが、参加した皆さんは、会場に入ると静かで、喫茶店では、みんなくつろいだり、気楽におしゃべりをしていたように見えました。プログラムでは、たんぽぽさんのおはなしとしてもあたたかい

感じがしてステキでした)や、帯広青年合唱団さんの歌(特に最後のソーラン節・太鼓の音っていいなあと思いました)や、手話の会会長の武藤さんのおはなし、そしてみんなで手話で歌ったこと、とても良かったと思います。来年のクリスマス交流会はどんな内容になって、どんな人たちが参加して、ツリーはどんな風になるのか、そして進行係は誰になるのかとても楽しみです。

みなさん ごくろうさまでした。

町保健婦さんとのふれあいコーナー

“お元気ですか” 音更町保健婦 金澤純子

初冬の候、朝・夕の冷えこみが厳しくなってきましたね。皆さんいかがお過ごしですか？ いつも「なんれん」音更支部の会報を読ませていただいています。以前、訪問に向っていた方が、大勢の人達の前で、堂々と体験発表されていたのを読み、胸が熱くなる思いがしました。病気の原因や治療法が確立されていず、体調が悪くなると、あせつたり、落ちこむこともあると思います。しかし、それにも増して家族や仲間の方々の大きな支えによって、自分自身をしっかりと見つめ、病気と闘い、病気に克っている姿を感じました。

まわりの人達に支えられた輝きが、また、まわりの人達を照らしているように思います。これからも、音更支部の発展をお祈りすると共に、地域で頑張つてゆけるよう応援させていただきます。皆さんも、体調に気をつけて頑張つて下さい。(1991年11月記)

『カキ』がおいしかった研修会に参加して、

児玉 香枝子

道東支部役員研修会に初めて参加しました。

今回の会場は厚岸！あのカキ貝で有名な所。

密かにはずむ心を抑え、いざ汽車に飛び乗り

ました。一日目の講演、釧路保健婦係長の

大築^{オホ}さんの話は分りやすくまた力強く活発に

難病対策に取り組んできた姿がうかがえました。

保健婦だけの力ではなく患者さんの協力

と地域の理解が得られたからでしょう。

その為には、コミュニケーションを大切にし

行事など行なう場合など保健所の連絡は必ら

ずする。何をしてく欲しいか、こちらはこれ

ぐらいしかできないが、どのぐらいの力を貸

してくれるのかの意志をはっきりさせる事が

お互いの協力に必要な事だという話をしてく

れましたが、これは決して両者だけの話しで

はなく患者会の中でも必要な事だと思います。

2日目は、難病連伊藤事務局長の講演でした

国や市町村の費用負担、福祉8法、医療法の

改正など、難しそうではありますが、話を聞くと自分の身近な事ばかりで本当は知っていたくるところはいけない事なのではないでしょうか……
これからが勉強ですわね。

さて、勉強ばかりではありません。レクレーションでの保健婦さんの名司会ぶりは、会場を明るくなごやかにし、民謡での体操やビンゴ(景品当りました)なども楽しませてくれました。

交流会では、楽しみにしていたあの「カキ」が出ました。おいしい焼カキ、鍋を頂きながら話も一層盛り上り、和気合々で他の支部や保健婦さんとも ゆっくりお話し合いました。本当に良かったと思います。

いこいの場を開設準備中

誰もが楽しく過ごせて、情報交換の場ともなる施設を目指して…場所は事務局(宝来藤)の南側の空屋を有志の方々にお手伝い頂いて改築中です。開設は4月頃を予定しています。詳しくは次回の会報でお知らせします。

北海道難病連団体一覽

1991.12現在

なんれんは(赤い羽根)

共同募金

の配分を受けています。

団体名	代表者	事務局	電話
(個人参加難病患者の会)あすなろ会	石川 実	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
再生不良性貧血患者と家族の会	矢野 肇	札幌市	
全国筋無力症友の会北海道支部	猪口 英武	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国膠原病友の会北海道支部	小寺 千明	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国心臓病の子供を守る会北海道支部	小田 隆	札幌市	
全国二分脊椎症児(者)を守る会北海道支部	星田 政子	札幌市	
全国パーキンソン病友の会北海道支部	鈴木 義一	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-0014
胆道閉鎖症の子供を守る会北海道支部	羽根 武夫	札幌市	
日本オストミー協会(人工肛門・膀胱)北海道	金田 正	札幌市	
日本てんかん協会(波の会)北海道支部	渡辺 勝	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	552-6690
日本リウマチ友の会北海道支部	重延 洋子	札幌市	
北海道肝炎友の会	佐藤 春男	札幌市	
北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会	津田 良治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
筋ジストロフィー部会		札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道後縦靭帯骨化症友の会	東出 輝夫	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道小鳩会	三好 明子	札幌市	
北海道腎臓病患者連絡協議会	岩崎 薫	札幌市	
北海道スモンの会		札幌市	
北海道脊髄小脳変性症友の会	森下 正規	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道側彎症児を守る会	北側 秀俊	札幌市	
北海道低肺の会	福居 文悦	札幌市	
北海道パージャーカー病友の会	中野 健治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道ヘモフィリア(血友病)友の会	青木 一良	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道ベーチェット病友の会	高野喜久治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
未熟児網膜症から子供を守る会北海道支部	田中 静子	札幌市	

〈地域支部組織一覽〉

支部名	支部長	事務局長	事務局	電話
札幌支部	伊藤たてお		札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	011-512-3233
旭川支部	滝田 清市	石村 輝男	旭川市	
函館支部	近江 忠	田中 正志	函館市	
十勝支部	江口美生男	荒尾みや子	帯広市	
釧路支部	上田 弘	田名部章子	釧路市	
室蘭支部	十河 勝彦	佐藤 利国	室蘭市東町2丁目1-19 市障害者福祉センター腎友会内	0143-45-6849
北見支部	岡村 功	加藤 禎子	北見市	
南見支部	上戸 富雄	沢野 敏子	桧山郡江差町	
根室支部	木村 猛雄		根室市昭和1の6	01532-4-2988
阿寒支部	炭野 信好		阿寒郡阿寒町16線29 社会福祉協議会内	0154-66-2121
厚岸・浜中支部	田宮 滋子	山田 澄子	厚岸郡厚岸町	
標茶・弟子屈支部	阿部 正直	中島 幸子	川上郡標茶町	
中標津支部	河股 清太	豊島 トシ	標津郡中標津町	
早来支部	田岸 正直	成田 庄次	勇払郡早来町	
美瑛支部	伊藤 彰	中川 敏明	上川郡美瑛町	
白老支部	菊地 豊治	畑瀬 幸雄	白老郡白老町	
音更支部	菅原 貞助	穀内さかえ	河東郡音更町宝来北1条7丁目2 穀内方	0155-31-7559
岩見沢支部準備会	平山 岩雄	村田 信二	岩見沢市南町	
戸井支部準備会	島本 義久	吉田敬一郎	亀田郡戸井町	

HSK なんれん臨時号

編纂人/財団法人 北海道難病連 伊藤 たてお

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

札幌市中央区南4条西10丁目 ☎011-512-3233

1992年2月10日発行HSK通巻237号(毎月1回10日発行)

FAX 512-4807

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原 義郎

月～金曜10時～18時、土曜10時～14時、日曜祝日は休み

札幌市北区北13条西1丁目

J P C 国会請願署名に協力下さい!! (二月末日までにお送り下さい)